

地域の輪の中で、その人らしさを…

～地域に根付く施設を目指して～



六尾だより

第5号

発行
社会福祉法人長寿会
京南市信達六尾547
TEL 0724-83-7260
www.chojukai.or.jp

あなたの新しい
笑顔見つけた！



六尾の郷では今年1月より、新たに「ハガキ教室」が開かれるようになりました。
地域より水彩画の先生を迎え、手ほどきを受けながら、ハガキに季節の絵柄を描いていきます。この活動は、甲に個人の趣味として楽しむだけの時間でなく、ケアハウス、グループホーム、特養の利用者が同じ活動を通して交流する、唯一の時間でもあります。参加された方は「はじめ上手く出来るかと心配やったけど先生に教えてもらって良いのができた」「私は、絵が下手やから恥ずかしい」と話される方が多くおられました。
この活動を通し、ひとりひとりの個性や主張が一枚のハガキによく出ていきます。みなさん自分の作品の出来上がりには満足されたよううで笑顔で帰って来られます。
ケアハウス、グループホーム、特養、それぞれの「家」が手を取り合い、一つの大きな「郷」となることで、そこに住むひとりひとりの個性を輝かせていきたい。今、私達は新たな「六尾の郷」を目指します。

(I & M)

T M さん

士伝吉殿
例王寺何
正月雑煮

心やさし
長先生
と佐野さん御
夫妻に楽しい奇跡
があこりますよ
お金・御馳騁がどつ
さり入りまますよう



「朝は4時半には起きてるよ」と超早起きな T さん。
今年の夢は？とたずねると
「ノーベル賞受賞・芥川賞受賞・ルーブル美術館へ行く事！」と
話がつきません。画家と作家、そして作曲家になる事が
夢だったという T さん。モジリアーニや横山大観の画についてなど
本当に深く、お話していても驚かされます！

N Y さん



「長生き」と書かれた N Y さん
長生きするためには運動やな。そのためには、
「長生きするにばい食べらなアカン！」と
ごはんもいっぱい食べました。
強く答えて下さいました。
運動はしんどくないですかと尋ねると
「小さい頃から山を歩くのが好きやった。
また行きたいから、苦痛には思わんよ」と
笑顔で話して下さいました。

T K さん



「7才の頃から魚をさばいて
いたよ」と笑顔で語る T さん。
ご両親がはじめられた今年で創立50年になるお店で、
今も魚や野菜、お米等を扱うお手伝いを
されています。「手伝いは昔からの事、少しも苦にならんよ」と笑う姿に
いつも元気な T さんのルーツと、元気の源が見えた気がしました。

この一年はどんな年にしましょうか？それぞれに思いのこもった作品とともに皆さんの声を聞かせてもらいました。

新年の思ひ新たに。

職員一句道場

ケアマネや
冬のさむさも
バネとする

ケアマネジャー
TK

その瞬間を
共に感ずる
存在に

グループホーム・ケアスタッフ
KK

一歩ずつ
足元見つめ
前進を！

ケアハウス・ケアスタッフ
IK

ダイエット
明日からねと
言い聞かす

特養・ケアスタッフ
NH

ふと気づき
窓を開ければ
花ふぶき

デイサービス・ケアスタッフ
SK

病む人の
心癒せる
看護婦に

特養・看護スタッフ
SF

とし
年齢かさね
いつかゆく道
われの道

ホームヘルプステーション
SM

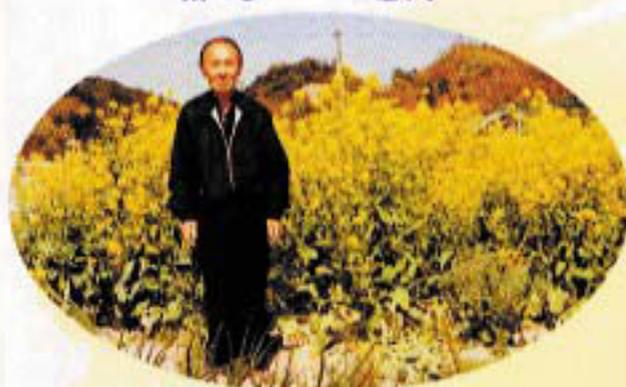
MM さん

手芸クラブで創った作品の前で



長年の夢が叶いケアハウス入所できてよかった。スケジュール一杯で毎日はりのある生活を送っている。なかでも、あいびあに行き歌体操やカラオケに興じている時が一番楽しい。生きがいは孫の結婚。ひ孫の顔を早くみたい。長男夫婦も毎週顔を見せてくれ、これ以上の幸せはない。

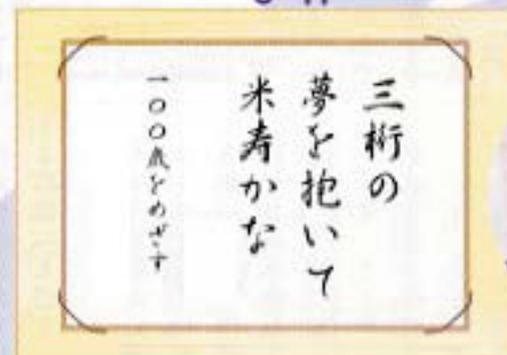
MS さん



菜園クラブに入り草取り・作付けにも励んでいる。芸術作品（菜の花）の前で撮影

早起きし苑内の草木に水やりするのが日課である。周りがどう思おうが気にしない、損や思ったらできない。自分の為でありケアハウスの為にもなる。寿命は何才でつきるか分からないができる限りやっつこうと思っている。

OH さん



人間誰もが欠点を持っていると思う。私の欠点は些少なことで筋が通らぬと思えば大声を出して怒り出す。夫婦間の口喧嘩もこの類が因なしていることが多い。そこで八十八才の米寿を機会に「これからは怒らない」ことを目標におく。有言実行

ともに歩む

グループホーム六尾の郷利用者

S・Fさんご家族より

春の足音が近づいてきました。

毎年 雛祭りに作ってくれる 母の混ぜご飯は 実家の庭一面に生えた香り高い蒔や蜀、人参、椎茸、など別々に炊いた薄味の具に 錦糸玉子のいっばいかかった 見た目にも美しく 本当に母の料理らしい忘れ難い一品でした。

その母の手料理の味つけがどこか変化してきたのです。

「お母さん、どうしたの？ どうして？」

何を尋ねても即座に明快な答えを返してくれていた母は 次第に私の知っている母では無くなって家族ばかりでなく 周りの様々な方にまで心配やご迷惑を掛けるようになってしまいました。

読み漁った「介護」の本の中に「痴呆患者を抱える家族が辿る心理的ステップとして（戸惑い・否定）

↓（混乱・怒り・拒否）↓（あきらめ）↓（受容）が必ずあるものだ」との記述を見つけた時には「運命共同体！？」に出会えたような気がして 妙に「納得」してしまつたものです。

そして 自分達の力には限界がある。プロの方々の手をお借りして母と家族の共存を考えていかなくは、と施設探しに方向を定めました。母の異変に気が付き あちこちのお医者様にもご相談しながら7年が経っていました。

母の生活の場を探す時、そこに私達が望んだ事は

- 1 出来るだけ今迄通りの普通の人が送るような日常生活を続けさせて欲しい（着替え・洗面・食事・入浴・トイレ・家事等）
- 2 趣味のこと（母の場合はお習字など）を通して今持っている能力を出来るだけ維持できるような機会を与えてあげて欲しい
- 3 可能な限り運動をさせ、できれば少しでも社会との接点を作って刺激を与えてあげてもらえば……

というような 大変欲張つたものでした。

グループホーム方式が 上のような条件をほぼ満たし 痴呆の進行阻止に大変注目を集めている事はよく見聞きしていましたが 少数しか入れないという そんな夢のようなホームがどこにあるんでしょう？ もし見つかったら何年待ち？ 入所費用 何千万円？

ふと目にした紙面に「グループホーム六尾の郷」と見つけた時にはすぐに見学申し込みの電話番号を回していました。ホーム館内の入所者の気持ち第一に考えられた快適な造り、食器が陶器であることも目ざとく確認！そして感激！

そして何よりスタッフの方々のテキパキと案内して下さる中にもその穏やかで落ち着きのある相手を心から受け入れて下さるような暖かいお話し……

「人生の先輩である入所者の方達から私達の方がいろいろ教えて頂いているんです。ご飯の時もみなさんと一緒に楽しんでいるんですよ」

私より20歳以上も若いと思われるスタッフの方のさりげなく言われたこの言葉に見えなかったトンネルの先に何かが見えた気がしました。

母は「六尾」入所後大変ほがらかなり言葉数が増えてよく歌も歌うようです。訪れる度に家族がびっくりにしているのは真っ白になっていた髪の色が黒々と若返ってきたこと。安心しきって落ち着いた日常を送らせて頂いている賜物、と感謝の気持ちでいっばいです。

人間の尊厳という事に就いて「グループホーム六尾の郷」は本当に真剣に考えこのテーマを軸に文字通り日夜活動してくれています。

「六尾」とご縁があった事を私達親戚家族一同何よりの喜びとしています。多くの方がグループホームを理解しますます多くの高齢者と家族の方が笑顔で良いコミュニケーションを持ち続けていける社会になることを望みます。



グループホーム特製

巻き寿司 (4人分)

☆材料

高野豆腐	2つ	だしパック、こぶ菜 酒、塩、砂糖、薄口 醤油で味付け
がんぴょう	1/2袋	
干し椎茸	4つ	
ほうれん草	1/2束	
玉子	4つ	
桜ごれぶ		

☆合わせ酢

酢	大さじ4	塩	少々
酒	小さじ3	砂糖	大さじ4



☆作り方

- 1 高野豆腐・干し椎茸も水でもおし上記の調味料で炊く がんぴょうは塩もみもし、もみす
- 2 ほうれん草もゆがき、玉子は厚焼きに切る
- 3 炊き合わせの具材を食べやさい大きさに切る
- 4 あとは、だし昆布を入れて炊き上げたごはれも酢と塩を合わせ、お好みの具材をのせ巻けば…



出来上がり

グループホームでは、
あさひの暇物といた頂きました

健康維持の秘訣は?
常に何かやるように心掛けています。毎朝のラジオ体操から始まり、歩行訓練・植木の世話・読書。そしてテレビを見ながらでも、ゴルフボールで指・足の運動をしています。また一人が

健康維持の秘訣は?

受けず羽を広げることができ、自分の趣味にも熱中することができありがたいと思っています。

ケアハウス長寿苑での生活
Q 猪足さんにとって長寿苑はどんな場所ですか?
個々の境遇によって違うとは思いますが、第一印象は正直狭く感じ、そこで表のドアを開けるようにし、心の開放と人との交流を図る事ができ孤独感が解消されると同時に、ここでは自由が約束されるので誰の感傷も受けず羽を広げることができ、自分の趣味にも熱中することができありがたいと思っています。

Q 猪足さんにとって長寿苑はどんな場所ですか?

いんたびゅう
ケアハウス長寿苑での生活



I S さん

明治40年3月5日生まれ
(94歳)

Q 長寿苑に望むことは?
毎月の行事も十分楽しませて頂いているのですが、行事ではなく普段皆が集れる場所をつくり、世間話をするグループ、将棋をするグループ・運動をするグループなどが皆が仲良く楽しめることができたならと思います。

Q 長寿苑に望むことは?

先は「健康でいる」ことが一番の子孝行であると考え体には気をつけるようにしています。私も子供たちの健康を気使いこれからは、お互い孝行し合うことが一番の幸せだと思います。

Q 長寿苑に望むことは?

死んだら名を残す。虎が死んだら皮残す。」を心に言い聞かせ90歳になってから、昔やっていたタッチングレースを再び始め、今では編み方を教えてもらいにわざわざ来る人がいる程。秘訣と言うなら、常に何かすることが秘訣ではないでしょうか。

在宅部 コーナー

- ・在宅介護支援センター
- ・ケアプランセンター
- ・デイサービスセンター
- ・ホームヘルパーステーション

同じ場所をどう使おうか

「変えよう・変わろう」が

モットー

今後、在宅高齢者福祉をすすめていく上でこのようなことが大事だと思われ
ますが。

地域の中に「しくみ」を作ることが大

だれもが親しみやすい
ほのぼのとした人柄。そ
の裏にある秘めた熱意。
泉南市高齢障害福祉課
の仕掛人、丹羽さんに
インタビューしました。

事だと思っています。①緊急に支援を必要とする人を、早期に見見
できるしくみ②サービスの情報が、住民一人一人にまで届くしくみ
③サービス利用を拒否する人の心をときほぐせるしくみ、の3つで
す。これらは行政だけの力では実現できません。在宅介護支援セン
ターやNPO、民生委員、ボランティア、そして行政等が皆同じ心
値観をもって、連絡し合えるしくみが求められているのでは。

介護保険が始まって高齢障害福祉課の
役割は、どう変わりましたか？

介護保険後、介護
の必要な人への支
援は、主に介護保
険課が担うように
なりました。それ
に伴い、当該の新
たな方向性は「い
かに要介護状態にならないか」
ということに主眼を置きつつあ
ります。「生きがいづくり・健
康づくり」などが今後大事にな
っていくと思っております。

この人に聞く



泉南市高齢障害福祉課
丹羽 さん

すばり、平成14年度の
重点課題といえは？

介護保険にはないサー
ビスを、福祉施策で充
実させたいと考えてい
ます。

一つは、所得の比較的低い方を対象
とした、介護用品支給事業のメニ
ューの充実、二つ目は、病後性高齢者
の家族に対する支援策を考えてい
きたいと思っています。

座右の銘は？

「変えよう・変わろう」です。
情勢は変わっているのに今までと同じ
場所にどとどまっているのが嫌い。また、
福祉部門に配属され様々な方との出会
いで自分自身も変わる事ができました。

在宅介護支援センター一席

市内各地で出演！

劇「とめばあさんの

介護保険体験記」

市内4ヶ所の在宅介護支援セン
ターでは、今、自作自演の劇「と
めばあさんの介護保険体験記」を
ひっさげて、各地区の集會等にお
じやましています。

劇の評判は上々。

「介護保険は、弱った人が利用
するもんや、というイメージがな
くなった。」という人や、中には
支援センタースタッフ扮する「と
めばあさん」の名演技に、サイン
や握手を求める人も…。

「楽しみながら、介護保険や福
祉を考える機会になれば…」とい
う気持ちで、お呼びがかかれば、
いつでも、どこへでも出張してい
ます。

私がこの道に

すすんだ理由



「足腰痛でな、掃除やら洗濯が
あつくうになってきたんや。」
「それなら、足腰の具合が良
くなるまで介護保険を使っては
どうですか？」

コミュニケーションを助ける アイデア介護用品

耳が遠くなると、遠慮から、何度も聞き返すことをためらったり、人と話すことがおっくうになることがあります。また、話し掛ける側もどうしても大きな声は疲れるので最低限のことしか話さなくなってしまったり、きつい表情になってしまいがち…

そこで



もしもしフォン
¥1,820

筒の片方に耳をあて他方から話をするという、きわめて原始的で一見子供のおもちゃのようですが、意外や意外。これがスグレモノ！大声を張らなくても声が散らさずしっかり目まで届きます。



手作りフォン

サララップのしんでも代用できます。

ヘルパーさんからの
ひと言をきっかけに！

ホームヘルパー N・Y

7年前までは、私自身が在宅で姑を介護する身でありました。パーキンソン病という病気と向き合うようになって、姑が永眠するまでの8年間、本当に大変な毎日でした。

夜昼なく続く介護で、心身ともに余裕がなくなっていた私に対し訪問してもらっていたヘルパーさんが言ってくれた、

「良くしてあげてるね。」

というひと言で、どんなにか気持ち

ちが楽になったことでしょう。家族の前では気弱になる姑もヘルパーさんが来ると必ず起きて、りんとしたところを見せ、昔の話をしていたものです。

今度は私が少しでもお手伝いできればという思いで、ヘルパーの道に進みました。

私の心を動かした
一つの詩との出会い

ケアマネージャー T・K

私がケアマネージャーの道にたどりつくきっかけとなったのは、「一つの詩」との出会いです。

私が二ヶ月間受けた、ある病人介護実習で、ケアしていく上では心の持ち方が何より大事だと教えてくれた一人の看護婦さんが、皆の前で一つの詩を読みました。

かあさん

かあさんに 数えきれないほど

だっこされた

だが一度だって…

おんぶされた

だが一度だって…

たぶさせてもらった

だが一度だって…

手を引かれた

だが一度だって…

お礼を言われた

だが一度だって…

気がついた時は

かあさんは

もうこの世にいなかった

私は涙が止まりませんでした。

父と母が離婚し、父に育てられた

私には、そのときすでに父はこの

世にはいませんでした。

詩は、読む人の心と聞く人の心

が一つになった時、相手に力を与

えます。仕事に疲れたとき、くじ

けそうになったとき、この詩の心

をかみしめています。

みんなの身近にいる
ような、生粋の泉南人
「とめばあさん」に
会場は笑いの渦。



在宅介護支援センター

(センター名)	(電話)	(担当)
せんわ	83-2022	関
ホリ	84-8583	村上
なでしこりんくう	80-5601	福本
六尾の郷	80-2851	原田

劇のご依頼や介護のご相談は上記の支援センターまでお気軽にどうぞ！

泉州たまねぎに託したロマン

「新家「たまねぎの碑」をたずねる」

「たまねぎの碑」があるらしい。そんなうわさを耳にして、さっそくそれが存在するという、新家・宮地区へ向かった。

種河神社のほど近く、ひっそりとたたずむその碑は、私が想像したような、たまねぎ型をしているわけでもなく、きわめてシンプルで、それでいて歴史を感じさせるたたずまい。

ここから聞き込み作戦開始。すると偶然、たまねぎの碑と関わり深い二人に出会った。

この地区の長老、M F氏と碑に刻まれている人物、M T氏のひ孫にあたる、Y A氏。

当時を語る貴重な人物
長老 M F氏と「たまねぎの碑」



お二人が親の代から聞いていたお話によると、こうだ。

新家村に M T という人物がいた。明治初期の生まれ、貿易商だった M F 氏は、貿易港として栄えた神戸、淡路によく足を運んだ。その時、彼の目に止まったのが、当時、西洋風食品文化として紹介され、淡路島の専売特許となつて、他府県への流通が禁止されていた「たまねぎ」だったのだ。巻ずばら〜とした「横さき」下名と絶えていた M F 氏は、泉州

の新しい作物にと、巧妙な文法術で種分けしてもらい、初めはこの泉州にたまねぎを持ち込んだのだ。その後も、たまねぎの生産拡大や海外輸出に尽力した M F 氏、その功労が称えられ、大正二年に授けられたのが、「たまねぎの碑」。「立功成徳碑」だったというわけ。

M F の話では、貿易商だけでなく、織物工場、力士、そしてたまねぎの普及と、何足ものわらじを履いていた M T 氏、そのエネルギーと、するどい先見性が、今ある泉州たまねぎのルーツなのだろう。碑を眺めながら、先人の残してくれた偉業に、しばし思いを馳せた。

(H・N)

ご意見・ご希望

皆様の生の声をお寄せ下さい！

六尾の郷や、私達に何か伝えたい「声」をお持ちではないでしょうか？

思った事、感じた事…

どんなにささいな事でも私達には明日へ確実な一歩につながります。

「こうすればどう？」「なぜそうしないの？」「ああしてほしいのに」甘口、辛口、私達にぜひ届けて下さい！



〒590-0514

泉南信達金熊寺130

TEL 0724-80-2850

FAX 0724-83-3311

社会福祉法人

長寿会

ケアハウス

長寿苑

〒590-0514 泉南信達金熊寺130番地
TEL 0724-80-2850 FAX 0724-83-3311

六尾の郷

〒590-0514 泉南信達金熊寺130番地
TEL 0724-80-2850 FAX 0724-83-3311